

(別紙)

令和5年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

10番議員 山下 純夫

これからのごみ処理問題に関する山神町長の考え及び本町における課題を問う

現在本町の可燃ごみは、本町と山北町のごみ処理を担う足柄西部清掃組合にて処理が行われている。しかし、令和3年2月1日から令和3年3月3日に実施されたパブリックコメント募集の際に示されたように、将来的には近隣1市5町（南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町）の処理施設を統合した新処理施設整備の方向で進むものと考えられる。共同体での事業となると各自治体個別の事情がある中で、本町の意向がどの程度反映されるのか不透明な状況である。

また新施設設置となると更なるごみ処理コストの上昇・住民負担の増加も懸念される。実際ごみ処理の有料化は県内でも着実に広まっており、昭和56年から有料化した寒川町を皮切りに昨年4月から開始した茅ヶ崎市まで8つの自治体に及んでいる。こうした状況を踏まえ、ごみ処理広域化においても本町の意向を可能な限り反映させることが望まれる一方で、現段階からの町民への一層のごみ削減に係る情報提供および協力依頼が必要であると考え次の事項を問う。

- 1 ごみ処理広域化に関する町長の考えは。
- 2 今後のごみ処理における課題と、町民への情報提供の方針は。